

平成 26 年 8 月 31 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

司 会 : 大神真伸兄
奏 楽 : 館 節子姉
おいのり : 持田樹理姉
さんび : 聖歌 397「とおきくにや」1. 2. 3 節
ヤベツの祈り
聖 書 : ヨハネによる福音書 11 章 38~44 節 (P.159)
(朗読: 下岡晶子姉)

音 楽 : 倉知 契牧師
お 証 し : 大神久美姉

メッセージ : 「栄光の瞬間」 倉知 契牧師

賛美と献金 : 新聖歌 343「罪に満てる世界」 1・4 節
頌 栄 : 新聖歌 63「父御子御霊の」
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 今日皆様おひとり一人を歓迎します。昼食もどうぞ(200円)
- ◇ いよいよ二週間後9/14(日)は、瀬戸カルバリーチャペル8周年記念！
ソプラノ西由起子さんの音楽ミサ。最高のコンサートになります。
皆様の教会です、一緒にお祝いしましょう。是非お手伝いください。
水曜日にチラシが瀬戸近郊に折り込まれます。用いられますように。
- ◇ 来週は聖餐式。イエス様の十字架と愛を心にとどめる時間です。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/木曜祈禱会后 会堂掃除
9月6日(土) 準備いのり会は、お休み。
- ◇ 祝大 Aコース I コリント6~10章 Bコース 詩篇120篇~144篇

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年9月7日] [聖餐式]
[司会: 赤塚敏郎兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 大神久美姉]
[ピアノ: 小島明美姉 賛美リード: 小島 誠兄
アシスト: 鄭 恵真姉、加藤由美子姉]
[献金: 赤塚孝子姉、大神久美姉 受付: 太田昌子姉]
◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 倉知契牧師



わたしの人生はヒロシマに投下された原爆〈ピカドン〉とともに14年の歳月で閉じられるはずだった。しかし、誰の目にも死は確実と思われる状態にあったのに、目に見えない不思議な力によって、もう一度この世に生かしてただけになった。とはいえ、熱線による外傷は一応治ったというものの、身体半分にケロイドと呼ばれる醜い傷跡が残り、体内には、目に見えない放射能が、血液の状態をはじめ、臓器に悪影響をもたらすといった、「不安定な第二の人生」の始まりとなった。こうした条件を抱え、与えられた「今日の一日」を大切に積み重ねるしかない歩みの中で、私の身体と脳裏に深く刻み込まれた悲惨な体験を記すことにした。

人間とは何か。聖書の世界で教えられている人間とは、神の似姿であり、知恵と自由意思を与えられたすばらしい存在。今こそ人類はもう一度、神に対する謙虚さを取り戻さなければ、お互いの間の争いは解決の道を失っていくに違いない…。

これはカトリックの司祭、長谷川儀神父の著書『八月六日の朝 ぼくは十四歳だった』(女子パウロ会)からの引用です。体験談のもつ力を感じます。

6月に沖縄にいったとき、乗車したタクシーの運転手と基地問題について話すと、「県外の子どもの方たちがしっかりと平和学習をして沖縄に来る。県内の子のほうが沖縄戦のことが分からなくなってしまっていて…」と困ったように話してくれました。その地に居ても体験談に触れていないとそうになってしまうでしょう。私たちは語り継がなければなりません。人生を変えた出来事について。

もし私が本を出版することが許されれば、長谷川神父に真似て「七月六日の朝 ぼくは十二歳だった」とするかもしれない。その日、私はどんな償いをしてでも赦されることのない、放射能よりも強くて怖い「原罪」に覆われていた、のが一瞬にして変えられたのです。洗礼式の朝、Born Again 新しく生まれ変わったのです。その溢れる喜びと感動。困難や試練にも耐えられる「安定した第二の人生」が始まりました。あなたも、キリストを通して、真の愛と平安を得ることができます、と、私も伝えずにはられません！そして共に、次世代へ伝えて参りましょう。

最高のチャンスが9月14日(日)の8周年記念ソプラノ・コンサート。瀬戸の礼拝堂が150人の人で一杯になるのが私のビジョンです。Doing Church As a Team. 一緒に教会を建て上げませんか？主に期待して祈ります。

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

彼を自由にしなさい！レット・ヒム・ゴー！(ヨハネ十一の四十四)